平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名　株式会社 エフ・ジェー・ネクスト　　上場取引所　東
コード番号　8935　URL　http://www.finext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 肥田　幸春
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　経営企画室長　(氏名) 小池　一朗　TEL 03-6733-7711

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,941	32.3	2,905	528.9	2,819	687.0	1,389	―
23年3月期第3四半期	16,583	△11.7	461	―	358	―	△108	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,396百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△117百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	89.31	―
23年3月期第3四半期	△6.98	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,336	17,375	59.2
23年3月期	30,110	16,134	53.6

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　17,375百万円　23年3月期　16,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―	5.00	―		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,570	25.8	2,960	89.4	2,800	96.3	1,370	102.3	88.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	16,098,250 株	23年3月期	16,098,250 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	535,400 株	23年3月期	535,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	15,562,850 株	23年3月期3Q	15,562,850 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期の連結業績予想等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産活動がサプライチェーンの立て直しにより徐々に回復し、個人消費にも持ち直しの動きがみられましたが、電力供給の制約や原発問題の長期化に加え、円高・株安の進行、欧州の財政不安による世界的な景気減速懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、東日本大震災発生直後は一時的に取引が縮小しましたが、住宅ローン減税や住宅エコポイント等の政策効果もあり、平成23年12月度の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同月比8.4％増の8,012戸（株式会社不動産経済研究所調べ）となるなど、需給ともに堅調に推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響から力強さには欠けるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、底堅く推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第３四半期連結累計期間は、売上高219億41百万円（前年同四半期比32.3％増）、営業利益29億５百万円（前年同四半期比528.9％増）、経常利益28億19百万円（前年同四半期比687.0％増）、四半期純利益13億89百万円（前年同四半期は１億８百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション182戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高143億81百万円（768戸）、ファミリーマンション売上高32億72百万円（88戸）、その他収入23億７百万円となり、不動産開発事業の合計売上高199億61百万円（前年同四半期比31.6％増）、セグメント利益25億４百万円（前年同四半期は１億33百万円の利益）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高10億99百万円（前年同四半期比10.9％増）、セグメント利益３億94百万円（前年同四半期比6.2％増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、売上高６億50百万円（前年同四半期比230.8％増）、セグメント損失16百万円（前年同四半期は41百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、震災の影響により４月の来客数が低迷したものの、５月以降は回復し、売上高２億29百万円（前年同四半期比0.7％減）、セグメント損失７百万円（前年同四半期は29百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は268億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億５百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が19億４百万円増加した一方、販売用不動産が11億９百万円、仕掛販売用不動産が19億82百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は24億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億31百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が１億57百万円増加した一方、有形固定資産が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は293億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億73百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は61億８百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億34百万円減少いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金が５億７百万円、未払消費税等が１億37百万円、未払金が95百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が15億27百万円、未払法人税等が２億17百万円減少したことによるものであります。固定負債は58億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億80百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が10億40百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、119億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億14百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は173億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億40百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益13億89百万円であり、減少は剰余金の配当１億55百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.2%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間において、平成23年11月４日公表の通期業績予想の営業利益、経常利益、当期純利益を概ね達成しておりますが、経営環境が不透明であること等を踏まえ、現時点において通期業績予想に変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,908,386	8,813,081
受取手形及び営業未収入金	453,191	791,201
有価証券	5,602	5,605
販売用不動産	8,716,845	7,607,485
仕掛販売用不動産	10,948,793	8,966,524
未成工事支出金	12,412	8,082
原材料及び貯蔵品	15,063	21,412
前渡金	13,100	17,200
繰延税金資産	357,072	350,806
その他	327,791	268,519
貸倒引当金	△4,269	△1,553
流動資産合計	27,753,989	26,848,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	826,624	841,814
減価償却累計額	△283,493	△321,461
建物及び構築物（純額）	543,131	520,352
土地	389,857	389,857
その他	231,653	233,901
減価償却累計額	△186,556	△191,049
その他（純額）	45,097	42,851
有形固定資産合計	978,086	953,062
無形固定資産	9,876	9,756
投資その他の資産		
投資有価証券	127,487	170,539
繰延税金資産	388,290	410,404
その他	863,473	955,198
貸倒引当金	△11,129	△10,882
投資その他の資産合計	1,368,122	1,525,258
固定資産合計	2,356,084	2,488,077
資産合計	30,110,074	29,336,444

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919,049	391,623
1年内返済予定の長期借入金	2,245,000	2,752,090
未払金	192,817	288,139
未払法人税等	1,044,247	826,793
未払消費税等	15,806	153,491
預り金	1,260,422	1,242,217
賞与引当金	109,283	133,740
その他	256,283	320,742
流動負債合計	7,042,910	6,108,839
固定負債		
長期借入金	4,357,900	3,317,000
退職給付引当金	208,306	231,764
役員退職慰労引当金	587,380	607,840
長期預り敷金保証金	1,658,262	1,597,522
長期預り金	107,750	92,579
その他	12,757	5,103
固定負債合計	6,932,356	5,851,809
負債合計	13,975,266	11,960,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	12,179,513	13,413,806
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	16,151,934	17,386,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,126	△10,431
その他の包括利益累計額合計	△17,126	△10,431
純資産合計	16,134,807	17,375,795
負債純資産合計	30,110,074	29,336,444

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	16,583,139	21,941,421
売上原価	12,706,969	15,323,619
売上総利益	3,876,170	6,617,802
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	230,028	375,858
給料手当及び賞与	1,343,186	1,341,970
賞与引当金繰入額	135,317	132,635
退職給付費用	33,643	36,218
役員退職慰労引当金繰入額	16,210	20,460
その他	1,655,885	1,805,655
販売費及び一般管理費合計	3,414,270	3,712,798
営業利益	461,899	2,905,004
営業外収益		
受取利息	2,506	1,694
受取配当金	4,077	4,036
違約金収入	570	1,360
その他	10,786	11,495
営業外収益合計	17,941	18,586
営業外費用		
支払利息	108,602	101,299
その他	13,015	3,160
営業外費用合計	121,617	104,460
経常利益	358,222	2,819,130
特別損失		
固定資産除却損	33	184
投資有価証券評価損	－	24,950
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,933	－
特別損失合計	3,966	25,134
税金等調整前四半期純利益	354,256	2,793,995
法人税、住民税及び事業税	483,434	1,430,724
法人税等調整額	△20,496	△26,650
法人税等合計	462,938	1,404,074
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,682	1,389,921
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△108,682	1,389,921

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,682	1,389,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,450	6,694
その他の包括利益合計	△8,450	6,694
四半期包括利益	△117,132	1,396,616
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△117,132	1,396,616
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,163,532	991,666	196,593	231,346	16,583,139	－	16,583,139
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,390	168,985	857,398	4,429	1,033,203	△1,033,203	－
計	15,165,923	1,160,652	1,053,992	235,775	17,616,343	△1,033,203	16,583,139
セグメント利益又はセグメント損失（△）	133,578	371,815	△41,387	△29,784	434,221	27,677	461,899

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額27,677千円には、セグメント間取引消去16,680千円、セグメント間たな卸資産及び固定資産の調整額10,997千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,961,361	1,099,948	650,276	229,834	21,941,421	－	21,941,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,859	197,573	588,210	4,286	794,931	△794,931	－
計	19,966,221	1,297,522	1,238,486	234,121	22,736,352	△794,931	21,941,421
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,504,796	394,780	△16,062	△7,515	2,875,998	29,005	2,905,004

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額29,005千円には、セグメント間取引消去25,410千円、たな卸資産及び固定資産の調整額3,595千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。